

報 廣
ま
う
だ
い

昭和46年9月20日発行
第146号
東頸城郡松代町公民館
館長 富沢清次
電話 松代1番
印刷 松代印刷所

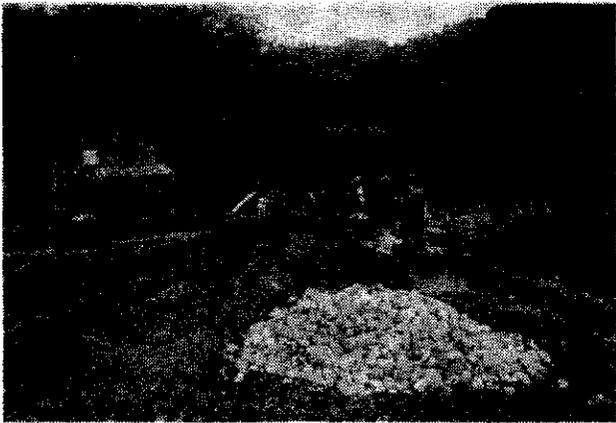


かけ稲のせい二
影にふまれた
野、菊かな

南部への道工事初まる

町道松代・松之山線第一期工事

かねてから大きな車の入る道をと熱望し続けてきた、南部地区（小屋丸、池之畑、下山）の人たちでしたが、今まで各種の条件が整わない為、松代寄りの巾広い道路が出きませんでした。この度関係者の協力により、永年の夢をはたすべく、通称南部線の工事が議会において議決を見、この程本年度の工事が着工されました。



本年度分は延長二五二米、巾員五米の工事ですが、七月一日より一二月二七日まで、大字松代地内（役場附近）より初められ、予算としては約一五〇〇万円、松代町相沢組の手で今懸命に進められています。すでに渡海川にかゝる橋の計画も進められているとのことですので、近年中には立派な道路が出きるものと考えられます。

雨にたたられた

消防演習

例年行なってきた、町の消防分団演習は八月二十一日より三日間町内各地において実施される予定でしたが、連日の雨天に、遂に二日は取止めということになりました。二三日はそれでも予定により蓬平、仙納、松代中学校で行い翌二三日は片桐山、下山でそれぞ

れ所要時間二時間で、想定演習、規律訓練、ポンプ操法などが行なわれました。

尚この日知事表彰なども行なわれ、消防活動に尽力された方々に功績章、勤続章などが手渡たされました。当日表彰を受けられた方々は次の通りです。

功績章

山賀利一（第二分団長）
池田光雄（第五分団長）

勤続章

（三〇年以上）
関谷伊市（池尻）
（二〇年以上）

若月幸栄（千年）

若井一男（池尻）

秋山政吉（清水）

秋山利雄（〃）

茂野茂訓（〃）

秋山洋（〃）

柳 義友（片桐山）

柳 俊作（〃）

柳 敏夫（滝沢）

池田昇一（田野倉）

井上利平（寺田）

田辺喜八郎（〃）

中沢一郎（木和田原）

（一〇年以上）

富沢一男（太平）他二二名

総合開発センター

工事進む

旧町公民館の跡に機械の音も高く、今工事が進められているのは総合開発センターの建物です。

これは町の総合開発計画に基づくもので、町民の皆様から巾広い利用をいただける建物とい

うことを町で

は、かねてか

ら考えてきま

したが、よう

やく昨年暮、

その構想も決

ったので、議

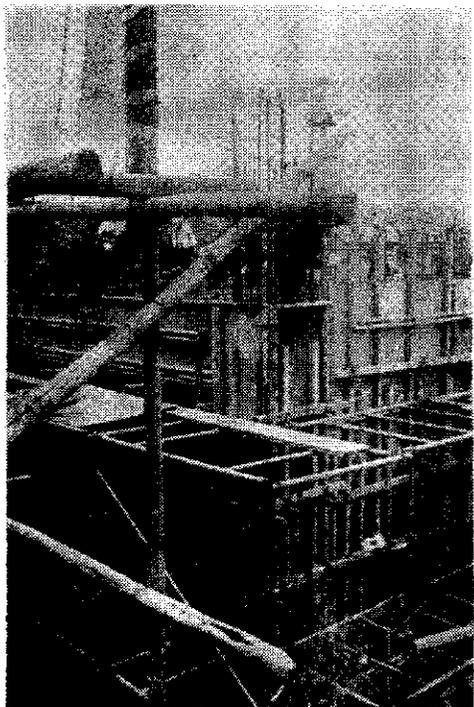
会の議決を見

着工という運

びになったも

のです。

建物は鉄筋



三階建て、奥行約一〇米（六間）、広二七米（一五間）の予定で、今懸命に長岡市の山崎組の手により進められているものです。

この建物は出来上がれば、調理実習室、和室三〇畳、娛樂室、大小の会議室、図書室、茶室、ホールなどが予定されており、たゞ集会のみの利用されるということだけでなく、大人の学習の場としても大いに利用される様に配慮されています。まったく内部まで完成されるのは来年になるでしょうがこの工事ができるだけ早く終ることを願ってやみません。

松代町郷土史

沿革編 発行

明治以降の資料を集めて：

松代町教育委員会では、かねてから編集中の郷土誌沿革編下巻をまとめ、印刷所にまわしておきました。この程出来上り発行いたしました。これは一昨年発行しました上巻（明治時代まで）に続いてのもので、一〇一頁にわたる、行政区の改正、町村議会、地租改正と交付税制度、敗戦と食糧危機、戦後のインフレ対策、農地改革、交通運輸、通信、産業の今昔、官公衛、会社、神社寺院、古城址、災害等、明治以降の文献や資料に基づき、書かれてあるものです。

この度の印刷は限定部数ですので、数多くはありませんが、希望される方は早目に教育委員会へお申込み下さい。

尚松代町郷土誌は、教育編、沿革編上下、と発行されております

八月下旬は スポーツの花盛り

八月の二十五日から月末にかけて、松代町では数多くのスポーツ活動が行なわれ、多くの人の参加を見ました。

先ず二十七日、松代では好例の松代神社における寄相撲が行なわれ、午前中小学校児童による相撲大会、午後は大人という様に一日中にぎやかな行事が続けられました。これはだん／＼少なくなっていく故郷の大切な行事の一つとして各方面からも注目されているも



(児童の相撲大会)

のです。尚この日は室野小学校において婦人を対象に県主催の体力づくり教室が開かれ、集った六〇名以上のお母さん方が終日栄養講座や、体力づくりの実技を受けました。

二十九日の日曜日は町の野球大会郡青年団主催の東頸城郡横断駅伝大会、県主催のオリエンテーリング県大会がそれぞれ行なわれ、早朝よりは暮れまでスポーツを楽しむ若者の姿が町一ぱいという感がありました。

まず野球大会ですが、高校グラウンドで九時開会、予選を勝ち抜いた芋島チーム、役場Bチーム、全通チームのリーグ戦が行なわれ、各一勝一敗づつという結果でしたが、主将の申合せにより、芋島チームが優勝と決定、優勝旗を手にし喜び一ぱいの顔を見せていました。一方少林寺裏を中心に行なわれた、オリエンテーリング大会では、この町では初めての行事ですが、遠く新潟市、長岡市、小千谷



(オリエンテーリング大会のスタートで)

市などからの参加者もあり、一五〇名をこえる状況でしたが、地図と磁石をたよりに、山を駆けめぐりポイント(関門)を探し歩く姿でにぎわいました。

松代町の場合夏場の体育活動は本当に短かい期間に限られてしまふのですが、その期間を本当に有効に生かして、自分の体力づくりを行うことの大切さを、あらためて考えてみることも必要なことではないでしょうか。

坊やの自転車は それでいい?

▲交通教室がひらかれる▼

暑さの続く八月の一〇日に、町の交通安全対策協議会の主催で、松代小学校を会場に、交通教室が



(交通教室風景)

開られました。

この日は松代小学校及分校の児童を中心に、自転車の乗り方と道路通行の実際、正しい道路歩行、やさしい交通法などを熱心に指導を受けました。尚この教室には交通安全母の会の人達も出席し、児

童と共に学び、この町から事故のない事を願いつつ、今後の活動を続けて行く様にお互いに誓い合われていました。

兎角危険を叫ばれている子どもの交通事故対策には、町民ごぞつて、あたらなければならぬことは申すまでもありませんが、年々増加する交通事故は一件でもなくす様、たゞ子ども達だけが気を付けても、大人の人達の心構えが第一だと、係は語っておられました

河川が泣いています かわ

このゴミ、どうかして!

先般町内のある所での目撃です。お昼時の河川は真夏の太陽に輝いて、誠に美しく流れていました。しばらく流れの美しさに見とれていました処、バンヤ／＼という音に頭を上げて見ますと、どうでしょう、すぐ川上で一輪車に一ぱいのゴミが捨てられているではありませんか。思わず声をかけ様としましたが足早やに去る人の姿を追いかけることが出来ませんでした。私たちは河川法で河川にゴミを捨ててはならないことをよく知っています。だが実際問題として、そのことがよく守られていないことも又事実です。ことに夏場では子ども達が川遊びに興ずることもあります。川下でプールの水をくみ上げています。それにお盆で久しぶりの故郷の山河を頭に画いて帰ってこられた人達は、ここでもゴミの川を見せられたと思われたことでしょうか。

一寸の配慮から私たちの周囲は美しくもなり、住み易くもなるのではないのでしょうか。

これからでも良い、川にゴミは捨てない様にいたしましょう。



離農給付金について

離農給付金という制度があることを知っていますか。離農給付金とは、言葉のとおり離農した人に支給される一時金で、支給額は一五万円と三五万円のふたつあり、給付は昨年一〇月に発足した農業者年金基金で行っています。しかし離農したら誰でも貰えるのかというと、そうではありません。一定の資格条件が必要です。まず離農するまでに、ひきつづき五年以上農業を続けてきた経営主で二〇才以上の者に限られています。つぎに離農予定者がこれまで経営してきた自分名義の自作地、小作地のすべてを農耕目的として処分しなければなりません。その場合、自作地については所有権を譲り渡さなくてはなりません。処分する自作地は三〇アール以上であることが必要ですが、そのうち一〇アール未満を自家菜園として手許に残すことはかまいません。

さらに、この給付金は離農者の援助とともに、離農者が手放した農地を他の農家の規模拡大に役立てようというネライをもっていますので、あくまでも離農予定者のあととりや世帯員以外の者に対して処分しなければなりません。その場合も一定の要件があつて農業者年金の被保険者のほか、六〇才未満で一定の経営規模をもつ経営主や、農業生産法人等に譲り渡さなければならぬことになっています。最後に三五万円の給付を受けられるのはどういう人かを簡単に言いますと、大正五年一月一日以前の生れ、つまり今年の一月初旬で五五才を越えた人で、離農する一年前に一定規模以上の農業経営を行っていた人ということになります。それ以外の人は一五万円です。なおくわしくは農業委員会へお尋ね下さい。

- 一、いつ提出するのか……離農予定日のおおむね一年前に提出して下さい。
- 二、何故提出させるのか。
- ① 離農者にとって計画的離農(農地の処分等)をすることが出来ます。
- ② 農業委員会にとっては、基準日の状況をあらかじめ把握確認することが出来るので、支給申請書の確認および意見書の作成に便利だということです。
- ③ 農業者年金基金にとっては離農給付金支給を計画的に推進することができ、また農地等の売渡希望者等も把握することが出来ます。
- 三、急に離農することになった場合、おおむね一年前に計画書を提出する余裕はありませんから離農を決意した時点で、計画書を提出すればよいこととなります。
- 四、四六年一二月末までに離農する人は計画書を提出する必要はありません。

異常気候にカツパ連の出足にふる

利用者総数 一四、七〇五名

異常気候とまで言われた今年の夏は、長雨と低温の続く毎日、町営プールへの出足が鈍り、関係者を心配させました。

ということでした。それでも小さな河童連は、太陽が顔を出せば、水泳パンツ一つでプールにあらわれ、管理人を驚かせていました。

実際真夏という感じがしたのは十日間位でそれもお盆が過ぎるとまったく涼しくなり、水泳のできない日もあるという状況でした。第一プール(松代)は七月一〇日から、第二プール(室野)は二二日から開かれたのですが、九月五日までに利用者数は一四、七〇五名ということでした。その内容は

第一プール(松代)	五、八二六名
無料利用者	三、四二三名
有料利用者	九、二四九名
第二プール(室野)	三、〇〇三名
無料利用者	二、四五三名
有料利用者	五、四五六名
計	



古切手でネパールに

愛の灯を!!

|| 松代郵便局 ||

古切手を集めてネパールの子供達にBCGを贈る。いわゆる愛の古切手運動が展開されております。

次の要領で集めておりますのでご協力下さい。

- 一、切手のとり方
切手のまわり五〜一〇mmの余白をつけて切りとる(古切手三〇〇枚で一人分のBCGになります)
- 一、回収期間
四六年八月から四七年一月
- 一、送付時期
四七年一月末日まで
- 一、送付先
〒三八〇 長野市栗田
長野郵政局 郵務部内
信越郵便友の会事務局